



生活クラブ風車



夢風News

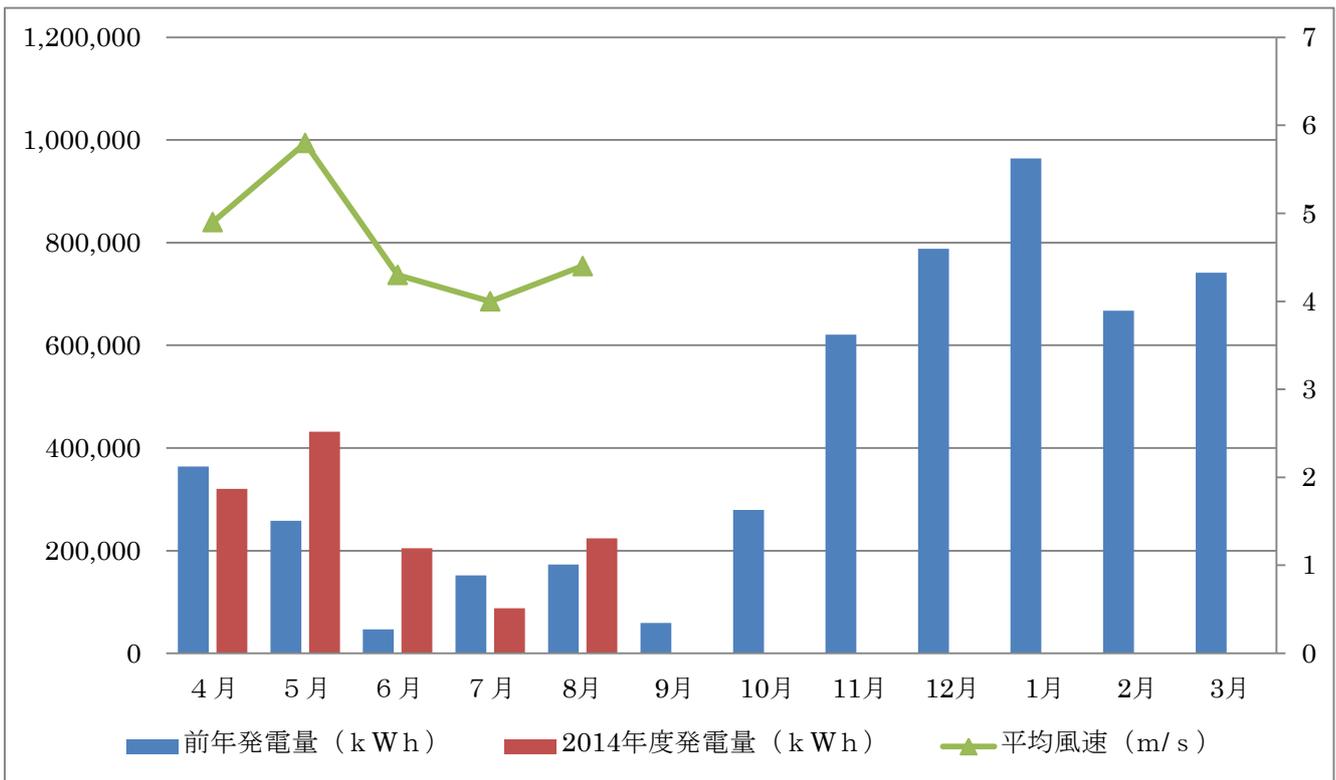
Vol.27

●発行 2014. 9. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2014 年度 発電実績 ■

	発電量 (kWh) 【前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	320,524 【88.0%】	4.9	22.4
5月	431,507 【167.3%】	5.8	29.1
6月	201,904 【440.5%】	4.3	14.3
7月	87,899 【58.0%】	4.0	5.9
8月	223,914 【129.3%】	4.4	15.1



○ 8月は太平洋高気圧の張り出しが弱く、湿った気流の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多くなり日照時間はかなり少なくなりました。

○ 夢風は、風が昨年より良かったことと、順調に稼働したことから、前年比 129%の発電量となりました。

■生活クラブ風車視察・交流 組合員リーダーツアー開催報告 パート2

生活クラブ首都圏4単協の主催で、8月3日～4日に組合員リーダー24名の参加で、秋田県にかほ市の生活クラブ風車の視察と学習・交流ツアーを行いました。前回に続けて報告します。

○8月4日、道の駅象潟ねむの丘の大広間にてツアー参加組合員の方、にかほ市役所の方、生活クラブ風車が建つ芹田自治会の方の参加で、学習会を行いました。まず初めに、半澤彰浩代表理事より、夢風の稼働状況とにかほ市と生活クラブの取り組みの経過報告を行い、建設当初から今までを振り返り改めて確認することが出来ました。

つづいて、名古屋大学大学院環境学研究科の丸山康司准教授より、「地域に資する自然エネルギー事業と生活クラブとにかほ市との地域間連携について」というテーマでお話いただきました。

エネルギー問題は地域間や世代間の利害が複雑に絡む問題で、自然エネルギーの利用に伴う正負の影響は様々で「正解」は立地場所毎でしか決まらない、結果的により多様な人々の利益にかなうのが「良い事業」だという事。

「対等互惠」をエネルギー分野でどう展開するかという点では、地域の人や、やっている人が腑に落ちるような付加価値を創造しながら味方を増やしていく事。エネルギー問題に関心を持ってもらうのではなく、人々の興味関心にエネルギー問題を結びつける事が大事という。生活クラブのこの取り組みは、電気の「消費材」化をすることであり、対等互惠による付加価値の創造や交流イベントなどによる対話的な消費材の開発への意義と可能性をもつとの示唆をいただきました。



須田正彦副市長よりご挨拶をいただきました。



次に、にかほ市の再生可能エネルギーの取り組みについて、総務部企画課の佐藤学氏より報告頂きました。平成25年12月現在の市内の再生可能エネルギーは、風力発電18基(30,230kW)、小水力発電6基(12,450kW)、太陽光発電(メガソーラー1500kW、庁舎14.58kW、中学校5kW、住宅用78件314.73kW)天然ガスコージェネレーション発電3基(75kW)で、平成24年度の総発電量は111,021,563kWh(総出力43,095kW)、一般家庭約30,000世帯分(にかほ市世帯数約9,000)となっています。

今後、さらに86,267kWを新規で増やす計画です。

○にかほの特産品の生産者との試食交流会



学習会の後、夢風ブランド開發生産者連絡会の生産者の方々と試食・交流を行いました。

参加した組合員の方々からの感想をご紹介します。

「どの品物も自然の味で美味しかった。デポー取組などで実現できるとエネルギーの自治やにかほの理解につながると思う。」「やはり生産者の方と直接お話しすることは大切と思いました。」「作ることを大切に情熱を持っている様子がわかり嬉しかったです。」「皆様の心づくしが伝わりました。生活クラブならではの交流です。」「心をこめて命をかけて」の言葉が響きました。」「秋に千葉のデポーに来て下さるのが楽しみです。

でんべいさんでは3代一緒に漁に行き、一つ一つ手作りで丁寧に作っている様子がわかりました。伊藤製麺所さんには生活クラブの小麦粉のうどん楽しみにしています」「皆さん生産者の方がこだわりをもって作られているのがわかりました。何より美味しい！！」

ツアー2日間を通じて最後に、生活クラブ神奈川の五十嵐理事長より、今後よりにかほ市との連携を高めていけるよう取り組みをすすめていきたいとのまとめのご挨拶をいただきました。

■ 夢風の建つ芹田地区の稲荷神社より御神符をいただきました ■



夢風の建つにかほ市芹田地区の稲荷神社の三浦生義宮司様より、グリーンファンド秋田に御神符とお手紙を添えていただきましたのでご紹介します。

「謹啓 心配されました台風も逸れ、特別な被害もなく安堵したところですが、今年もまた異常気象のようで油断のできない年となりそうです。

先月の当社例大祭にはご参拝をいただきありがとうございました、・・略・・本日7月12日の月次祭にあたり貴社のお名前をご神前に申し上げますとともに、事業繁栄と操業の安全・職員のみなさまの身体健康をご祈念申し上げます、その御神符を同封いたしましたので、お納め頂きますようお願い申し上げます。

これからは安全で安心な、そして環境に優しいクリーンなエネルギーが求められる時代です、みなさまの取り組むお仕事は、次の時代を担うエネルギー源として益々重要性を増して来るように思います、より一層の技術の開発に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。謹白

平成26年7月12日」

夢風も地域の神社に見守られていると思うと安心です。いつも地元地域の方々に温かく見守っていただいております事を大変感謝しております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

(事務局長：鈴木伸予)

にかほの風だより ～ にかほの生産者・佐藤玲さんからのメッセージ ③ ～

秋田は四季がはっきりしている地域です。

『あ！今日から秋なんだな～』と今年感じたのは8/27でした。

1日で季節の移り変わりを体感できるのが秋田なんです。

皆様の地域はいかがでしょう？

秋田の秋と言えば、やはり収穫です。

秋を感じると収穫に向けて慌ただしくなります。

米、花、きのこなどなど。そして、当地はやはり、いちじくです。

大竹集落ただいま、いちじくの収穫準備真っ最中です！！



前回の夢風に「9月中旬から熟する秋田のいちじくは絶品！いずれは皆さんに・・・」とご案内しました。なんと！その”いづれ”が思いのほか早く訪れました～(^^)

今年の完熟いちじくを奇跡的(?)に皆様にご案内できることに！

この奇跡には2つ要因があります。

ひとつは当地のいちじく生産者のやる気！

今年は新たに2人の生産者が完熟いちじく栽培を引き受けてくれたので、

完熟いちじくの収穫量が増える見込みです(^^)

それと、生活クラブH澤さんとS木さんのおかげです m(_)_m

今年は生活クラブの皆さまに『北限の完熟いちじく』をお試し頂き、ご意見を頂戴できればと存じます。

いちじくはデリケートな果物。通常は劣化を想定して熟する前に収穫し、市場へ出荷します。

それ故、完熟したいちじくはスーパーには並びません。

その点、今回ご紹介する完熟いちじくは”樹上完熟”

つまり、『樹で熟した完熟いちじく』

今までは生産者だけがいちじく畑でかぶりついていた、いわば独り占め完熟いちじく。

そんな”生産者特権”を、【限定100箱のみ】ご用意できる見込みです。



違いのわかる生活クラブの皆様には是非、

北限のいちじくの恵みを感じて頂きたいです♪

ただし、一般販売分も含めての限定100箱です。

是非お早目にご注文くださいませ～(^^)



【完熟いちじく 12粒 (秋田県にかほ市大竹産)】 12粒入り 1,470円 (税込、クール代込)

*いちじくの収穫量が日によって異なる為、お届け日のご指定はお受けできかねますこと
ご了承ください。

*調理向けの「加工用いちじく」もご用意できます。

ご注文は、【いちじく屋】で検索して <http://ichijiku-ya.com/>

または通話料無料 0120-077-149 勘六商店 へ